

高萩地区第5回学校運営協議会会議録

日時	令和5年3月9日(木)
場所	高萩中学校
出席者	石田則雄 鴨下吉彦 宮崎千恵子 岡野一平 井上雄太 塩川忠 田中和歌子 河村康郎 梶野義明
欠席者	市川徹 谷本和歌子
協議事項及び 決定事項	(1) 令和5年度小中学校経営方針について (2) 令和5年度学校運営協議会の実施計画 (3) 高萩小中学校地域学校協働本部の組織、運営について (4) 今年度を振り返って、来年度に向けて (5) その他
会議の経過	(1) 令和5年度小中学校経営方針の承認について ◎高萩小学校 開校135年目、児童については学力面では意欲は低くない。 初任者をはじめ、若い教員が増加している。 学級について、通常学級17、特別支援学級4、通級指導教室(言葉の教室)来年度増える予定。 伝統校であり、校舎の老朽化が進んでいる。 目指す児童生徒像、目指す学校像、教育目標は小学校中学校で共通。 本年度の重点努力事項として2点追加した。 【確かな学力の育成】 ・算数科における教員の指導力向上と児童の学力向上 今年度と来年度の2ヵ年計画で学力向上プロジェクトとして算数の授業力向上のプロジェクトを行ってきた。 ・非認知能力の伸長 【具体的な施作】 現在の確かな学力の育成の観点として、学校課題研究の充実を図る。昨年度までは国語科の研究を行ってきた。 特別活動等における意図的な遊びや周囲と関わり合う場面の創出 これにより非認知能力の身長を図っていく。 健康安全の保持と体力向上 運動会を昨年度は中学校の校庭を借りて行った。メリットもデメリットもあった。プールの改修も含めてラインの引き直しを行い、来年度は小学校で開催を模索する。 コミュニティスクールを基盤とした小中一貫教育の推進 9ヵ年を見通した教育課程の編成と実施 高萩公民館の活用により、3年生で「名人に弟子入り」4年生で「高萩囃子鑑賞」「車いす体験」等の充実を図る。 質問 1 いじめの対策として→教育相談の充実 2 肢体不自由学級の新設は昨年度のものである。

○高萩中学校

経営方針「すべての教育活動は子どもたちのために」

今年度は地域学校協働本部との連携・協力へ変更する。

小中一貫教育の実施に向けた教育課程の編成等連絡調整を行う。

来年度の学力向上が一番の目標となる。

ICTを活用した授業実践

意欲を持たせるための補充指導、家庭学習の中身の充実を図れるようにする。

豊かな心の育成

コロナ禍後における互いを尊重した絆を育む教育活動の推進

生徒主体の校則の見直し、健やかな体を育む環境整備

実践的な避難訓練として抜き打ちの避難訓練を今年度実施した。

校内研修の充実を図り、学力向上を目指す。

令和5年、6年度に県の学力重点支援を活用していく。

生徒の健康面や生活面での軽減、働き方改革として部活動の朝練習は行わないこととする。

来年度、教育支援センターが中学校の金工室にあたる部屋に開設される。

教育センターユリイカの別室として、不登校傾向生徒の学習支援を目的とする。

対象は日高市内の児童生徒を全員とする。

小中一貫教育として、プールの改修工事が終わった後に、小学校と中学校を結ぶ通路の工事が始まる。屋根は建築物扱いとなり設置できないが、通路の工事が始まり、小学校と中学校の行き来をやすくする。

質問

1 朝練習のなくすのは県全体としてはどうなのか

→県教育長が朝の活動を行わないように発言している。県内で行っている所もあるが、日高市と飯能市で共通で朝練習を廃止した。

2 通路とはどこにできるのか

→中学校のロータリーの北側を通路にして、車も通れるようにする。

3 家庭学習のことについて、学校評価で数値が低かったが対策は

→教員は昼休み等でやり切らせている。

4 自転車の乗り方について気になる場面が小中学校両方で出てきている。交通安全教育もしっかりと対策をしてほしい。

(2) 令和5年度学校運営協議会

第1回 5月24日(水) 14:30~16:00 高萩中学校

その他の日程は第1回で提案する。

(3) 地域学校協働本部の運営について

1 本部会は原則学期1回の開催

2 学習・課外活動部の運営・目的

学校に必要な地域や企業等と学校の橋渡し、授業等に参加している協力・支援者と学校の円滑な関係づくりを目的とする。

3 環境整美部

コーディネーターは地域学校協働本部での活動を定期的に学校運営協議会に報告する。